



日本医療検査科学会第54回大会 ランチョンセミナー20

日時：2022年10月9日(日) 12:00～12:50

会場：第8会場(神戸国際会議場 5F 504+505)

座長

和歌山県立医科大学 医学部 臨床検査医学講座

病院教授

古田 眞智 先生

講演①

当院で経験した異常ヘモグロビン症

～HA-8180VのVariantモード測定が有用であった例を中心に～

天理よろづ相談所病院 臨床検査部

木下 真紀 先生

講演②

糖尿病診療における血糖モニタリング指標の活用

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科

芳野 啓 先生

本ランチョンセミナーへのご参加は、整理券をお持ちの方を優先させていただきます。

9月16日(金)までに学会事前参加登録をすることで、同時にランチョンセミナーの整理券事前予約もおこなえます。

■ランチョンセミナー事前予約期間(8月下旬)～9月16日(金)

なお、9月17日以降のご登録もしくは当日受付の場合、ランチョンセミナーの整理券は開催当日午前7時からの配布を予定しております。

詳細は、日本医療検査科学会第54回大会のホームページをご確認ください。

<https://jcls.or.jp/convention/54th/>



日本医療検査科学会第54回大会 ランチョンセミナー20

「当院で経験した異常ヘモグロビン症 ～HA-8180VのVariantモード測定が有用であった例を中心に～」

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 木下 真紀 先生

「糖尿病診療における血糖モニタリング指標の活用」

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 芳野 啓 先生

HbA1cは血糖代謝状態をモニターする代表的な指標でありその歴史は古い。本邦ではHbA1c測定の専用装置が1981年に発売され、以来40年以上にわたって測定され続けている。

一方でHbA1cと血糖値など他の指標に乖離が生じる原因も多数存在し、その一つに変異ヘモグロビン(以下 変異Hb)症例がある。近年では変異Hbの検出や一部分離が可能なHbA1c測定装置も販売されてきている。

講演①では変異Hbの分離・検出が可能なアダムス A1c HA-8180V(アークレイ)を使用したHbA1c測定の運用や、実際に経験した変異ヘモグロビン症例について紹介する。

講演②では糖尿病症例を通じて、診療現場での検査値の活用や血糖マネジメント指標の使い分けの実際について解説したい。

JACLaS EXPO 2022 - 臨床検査機器・試薬・システム展示会 - アークレイマーケティング株式会社 展示ブースのご案内

会期：2022年10月7日(金)～9日(日)

会場：神戸国際展示場 2号館 1F

展示ブースでは、本セミナーでもご紹介いたします糖尿病検査システムについて、実際の検査機器・システムをご覧いただけます。

多くの方のご来場を心より

お待ちしております。

神戸国際展示場
2号館 1F

渡り通路(至 3号館)

エスカレーター

アークレイマーケティング株式会社

「アークレイマーケティング」を目印にお越しください。
感染対策を万全にしております。

C-8

1号館

《LINE公式アカウント期間限定》配信のお知らせ

2022年5月に開催されました第71回日本医学検査学会にて、スイーツセミナーを実施いたしました。是非、今回のセミナーにご興味のある方は、事前にご視聴ください。

【セミナー概要】

セミナー名：第71回日本医学検査学会スイーツセミナー(SS3)

講演①：『高分離HbA1c測定装置(HA-8190V)とミニラボシステムを連携させた変異ヘモグロビン症への対応』
愛媛大学医学部附属病院 診療支援部 臨床検査技術部門 主任臨床検査技師 高野 須 広道先生

講演②：『糖尿病治療において検査技師に期待すること』

国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 部長 西田 健朗先生

視聴時間：約1時間 ※3本に分けて配信しています。

※本セミナーは、2022年5月に開催された『第71回日本医学検査学会』にてご講演いただきました。

【視聴方法】

- ① LINE公式アカウント『検査のアークレイ(医療従事者用)』を友だち追加してください。
- ② トーク画面を開き、メニュー左横のキーボードアイコンをタップします。
- ③ 【検査】と入力して、送信してください。
- ④ 動画一覧が表示されますので、動画を選び、ご視聴ください。

【配信期間】

～2022年10月末まで

友だち追加は
こちらから

